

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公表番号】特表 2002-532743 (P2002-532743A)

【公表日】平成 14 年 10 月 2 日 (2002.10.2)

【出願番号】特願 2000-588300 (P2000-588300)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/23 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

C 0 8 J 7/04 (2006.01)

C 0 9 D 133/26 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 0 9 K 9/02 (2006.01)

G 0 2 C 7/02 (2006.01)

G 0 2 C 7/10 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/23

B 3 2 B 27/30 A

C 0 8 J 7/04 C E R Z

C 0 9 D 133/26

C 0 9 K 3/00 U

C 0 9 K 9/02 B

G 0 2 C 7/02

G 0 2 C 7/10

C 0 8 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 6 日 (2006.12.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 基材と、基材の少なくとも一つの表面上のフォトリソミックアルコキシアクリルアミドコーティングとを組み合わせ含んで成る物品であって、前記コーティングが、N-アルコキシメチル(メタ)アクリルアミド官能性ポリマー成分、フォトリソミック量のフォトリソミック成分および触媒量の触媒を含有し、前記成分がフィッシャーマイクロ硬度 50 ~ 130 N/mm²、22 での 30 秒後の OD 少なくとも 0.12 および 15 分後の OD 少なくとも 0.50、および漂白速度 200 秒以下を有するフォトリソミックアルコキシアクリルアミドコーティングを製造するような比で用いられることを特徴とする物品。

【請求項 2】 N-アルコキシメチル(メタ)アクリルアミド官能性ポリマー成分が、下記の重合性エチレン性不飽和モノマー：

(a) N-アルコキシメチル(メタ)アクリルアミド 25 ~ 80 重量%、および

(b) 少なくとも 1 種の別のエチレン性不飽和モノマー合計で 20 ~ 75 重量%

(ここで、重量比は、ポリマーを調製するのに使用される重合性エチレン性不飽和モノマーの合計重量をベースとする。)

の遊離基重合開始反応生成物である請求項 1 記載の物品。

【請求項 3】 エチレン性不飽和モノマー(b)が、(メタ)アクリル酸のエステル、ポリ(アルキレングリコール)(メタ)アクリレートモノマー、(メタ)アクリルアミドブチルアルデヒドジアルキルアセタールモノマー、脂肪族ビニルモノマー、芳香族ビニルモノマー、エポキシ官能性モノマー、または前記モノマーの混合物から選択される請求項 2 記載の物品。

【請求項 4】 エチレン性不飽和モノマー(b)が、スチレン、メチル(メタ)アクリレート、シクロヘキシル(メタ)アクリレート、ブチル(メタ)アクリレート、イソデシル(メタ)アクリレート、またはそれらの混合物から選択される請求項 3 記載の物品。

【請求項 5】 N-アルコキシメチル(メタ)アクリルアミドが、N-ブトキシメチルアクリルアミドである請求項 1 記載の物品。

【請求項 6】 N-アルコキシメチル(メタ)アクリルアミドが、35～55重量%含まれている請求項 2 記載の物品。

【請求項 7】 触媒が、フェニル酸ホスフェート、スルホン酸、p-トルエンスルホン酸、ドデシルベンゼンスルホン酸から選択される酸官能性触媒、または前記酸官能性触媒の混合物である請求項 1 記載の物品。

【請求項 8】 コーティングが、架橋剤、可塑剤、または架橋剤と可塑剤の混合物を更に含有する請求項 1 記載の物品。

【請求項 9】 フォトクロミック成分が、
(a) 400nm～525nmの視認できる maxを有するフォトクロミック化合物少なくとも1種、および
(b) 525nmを超え、700nmまでの視認できる maxを有するフォトクロミック化合物少なくとも1種
を含有する請求項 1 記載の物品。

【請求項 10】 フォトクロミック化合物が、ベンゾピラン、ナフトピラン、フェナントロピラン、キノピラン、インデノ融合ナフトピラン、ベンゾキサジン、ナフトキサジン、スピロ(インドリン)ピリドベンゾキサジン、金属-ジチゾナート、フルギド、フルギミド、およびそれらの混合物である請求項 9 記載の物品。

【請求項 11】 フォトクロミックアルコキシアクリルアミドコーティングが、厚さ5～200μmを有する請求項 1 記載の物品。

【請求項 12】 厚さが10～40μmである請求項 11 記載の物品。

【請求項 13】 基材が、紙、ガラス、セラミック、木、石造りのもの、織物、金属、またはポリマー有機材料である請求項 1 記載の物品。

【請求項 14】 ポリマー有機材料が、ポリ(メチルメタクリレート)、ポリ(エチレングリコールビスメタクリレート)、ポリ(エトキシ化ビスフェノールAジメタクリレート)、熱可塑性ポリカーボネート、ポリ(酢酸ビニル)、ポリビニルブチラール、ポリウレタン、ポリチオウレタン；およびジエチレングリコールビス(アリルカーボネート)モノマー、ジエチレングリコールジメタクリレートモノマー、エトキシ化フェノールメタクリレートモノマー、ジイソプロペニルベンゼンモノマー、エトキシ化トリメチロールプロパントリアクリレートモノマーから成る群の構成部員のポリマー；およびそれらの混合物から成る群より選択される固体の透明なポリマーである請求項 13 記載の物品。

【請求項 15】 基材が光学要素である請求項 14 記載の物品。

【請求項 16】 光学要素がレンズである請求項 15 記載の物品。

【請求項 17】 レンズの屈折率が、1.48～1.75である請求項 16 記載の物品。

【請求項 18】 N-アルコキシメチル(メタ)アクリルアミド官能性ポリマー成分、フォトクロミック量のフォトクロミック成分および触媒量の触媒を含有する重合性組成物の重合体を含んで成り、該成分がフィッシャーマイクロ硬度50～130N/mm²、22での30秒後のOD少なくとも0.12および15分後のOD少なくとも0.50、および漂白速度200秒以下を有するフォトクロミック重合体を製造するような比で用

いられるフォトクロミック物品。

【請求項 19】 物品がレンズである請求項 18 記載のフォトクロミック物品。

【請求項 20】 物品の厚さが少なくとも 0.5 mm である請求項 19 記載のフォトクロミック物品。